

令和3年第5回栗原市議会定例会 一般質問【個人質問】 通告表

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
1	14番 佐藤 悟	1 労働政策	<p>1 新規高等学校卒業者の就職支援について。</p> <p>(1) 市行政・高等学校・経営者協会・ハローワーク等一体となった「地元企業訪問」「ジョブフェア(県北地域)」等の取り組みを強化すべきであるがどうか。</p> <p>2 一般求職者の就職支援について。</p> <p>(1) 一般職業(労働者)の求人数の掘り起こし、求職活動の支援策が重要であるが、どう進めるか。</p> <p>3 ジェンダー平等推進、ハラスメント防止対策について。</p> <p>(1) 市役所職員に対する啓発活動(研修会)は、どう行っているか。</p> <p>(2) 「ハラスメント防止対策委員会」は、設置されているか。委員構成、相談件数、調査・調整・調停など対応例は、どうか。</p> <p>(3) ハラスメントのない環境づくりをどう進める考えか。</p>
		2 消防・防災政策	<p>1 「緊急消防援助隊」について。</p> <p>(1) 「緊急消防援助隊宮城大隊」の構成、任務と役割は何か。また、栗原市消防からの派遣隊員は何か。</p> <p>(2) 「後方支援活動訓練」の内容は、どうか。</p> <p>2 非常勤消防団事業について。</p> <p>(1) 令和2年度・3年度 団員 定員数、実在人数(うち男性、女性)、充足率、入団者数、退団者数</p> <p>(2) 「報酬」「費用弁償」の処遇改善を行うべきであるがどうか。</p> <p>(3) 消防車両(積載車)は、ワゴンタイプに改善すべきであるがどうか。</p> <p>(4) ホースの定期交換をすべきであるがどうか。</p> <p>(5) 防火衣は、全隊員に貸与すべきであるがどうか。</p>
		3 子育て・教育政策	<p>1 「子育て無料相談」について。栗原中央病院小児科の医師が、「子育て無料相談」を開設し、相談支援をしている。</p> <p>(1) 学校との連携はどう取られているか。</p> <p>(2) 市・教育委員会との連携、支援体制を一層強化すべきであると思うが、どうか。</p> <p>2 「学び支援教室」について。宮城県は「学び支援教室」を令和2年度はモデル校4校、令和3年度は小学校7校、中学校18校で本格実施している。</p> <p>(1) 「学び支援教室」の事業運営・内容はどのようなものか。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
			<p>(2) 市の「けやき教室」との違いは、何か。</p> <p>(3) 市としての「学び支援教室」と「けやき教室」の連携した取り組みの検討は、どうか。</p>
		4 医療政策	<p>1 不妊治療支援について。</p> <p>(1) 令和元年度、2年度、3年度特定不妊治療支援制度（治療費助成、休暇付与等）の申請件数・実績は、どうか。</p> <p>(2) 市は、相談体制の強化と支援制度の改善を図るべきであるがどうか。</p>
2	12番 阿部 貞光	1 子供（親子）若者のつどう場を提供せよ	<p>1 子供の頃や小学校・中学校・高校時のスポーツは体力をつけることや生涯スポーツにも繋がるものであり、重要と考える。そこで次の点を伺う。</p> <p>(1) 体力・運動能力調査が毎年行なわれているが、小・中学生の結果は（H30. R1. R2）。また、学校での体力向上への取組を伺う。</p> <p>(2) 中学校での部活動、運動部、文化部それぞれの入部状況を伺う（5年分程度、学校毎）。</p> <p>(3) 平成30年第2期栗原市スポーツ推進計画が策定され、2022年度までの5年間の計画とされている。第一節～第四節までの計画で細目では17項目で構成され、それぞれ到達目標が示されているが、現在までの取組と進捗はどの程度か伺う。</p> <p>(4) スポーツの原点は幼児期から遊びを通して身体を動かすことを習慣づけることが重要と考える。平成19年度には児童手当法に規定する児童育成事業として、児童環境づくり基盤整備事業が実施されている。こうした事業を活用し、自治会への遊具の設置補助制度を創設すべきと考え伺う。</p> <p>(5) 旧築館自動車学校は、現在国の所有となっている。国から借り上げ、草刈等の環境整備を行ない、スケートボードやバスケットボール3×3、子供の自転車の練習場所等として、子供や若者の集う場所として提供してはどうか伺う。</p>
		2 働き方改革とコロナ対応は万全か	<p>1 学校教育法施行規則の一部を改正する省令が令和3年8月24日に公布され、同日施行されている。多様化・複雑化する課題に対応する学校の指導・運営体制の強化・充実を図るため、学校において教員と連携協力しながら、不可欠な役割を果たす支援スタッフとして、医療ケア看護職員、情報通信技術支援員、特別支援教育員及び教員業務支援員について、新たに名称及び職務内容を規定するものとされている。人員配置と職務の現状と対応を伺う。</p> <p>2 学校における働き方改革に関する取組の徹底についてが平成31年3月18日に通知され、2年6カ月になろうとしている。これまでの改善点と今後の取組の考えを伺う。また、教職員の勤務時間にどのように変化があったか伺う。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
			3 新型コロナウイルス感染症の収束が一向に見えない中、学校での感染対策は重要課題である。これまでのコロナ対応の問題と課題はどうか伺う。また、さらなる感染対策の徹底を求めるがどうか。
		3 有効活用せよ、電気自動車・急速充電器	1 栗原市は環境の改善や地球温暖化の防止を図るため、いち早く電気自動車の貸出や急速充電器の設置を行っている。電気自動車の普及はより進むものであり、一自治体として先駆的に取組んだことは評価する。そこで次の点について伺う。 (1) 平成 25 年度からの電気自動車利用者数と急速充電器・利用回数・利用者数（市内・市外・県外）を設置箇所毎に伺う。 (2) 使いにくいと言った声が聞かれるが、利用時間・回数・利用届出等、どのようになっているか伺う。 (3) 民間の急速充電施設の設置者又は管理者から市への要望はあるか。また、市の急速充電器の利用者からの苦情は。これらについて、検討・対応・改善した内容と件数を伺う。 (4) 設置から約 8 年が経過するが、電気自動車の貸出及び急速充電器の使用方法等を検証し、もっと利用しやすい方向への検討を求めるがどうか伺う。
		4 持続可能な農業経営を	1 令和 3 年産米の米価は昨年度から西日本や関東では 1,800 円～1,900 円の減と報道されていた所、9 月 9 日報道の青森県本部では農家に仮払いする概算金を過去最大の 3,400 円も下げ主力品種のまっしぐらで 8,000 円、つがるロマンは 8,200 円と発表している。全農宮城ではまだ概算金を示していないものの、このような状況では稲作農家が経営を継続できなくなるのではと考える。そこで次の点を伺う。 (1) 収入保険の加入状況を伺う。 (2) 経営安定対策への加入状況を伺う。 (3) 米価の大幅下落時の農家救済を考えるべきでは。 (4) 令和 4 年度へ向けた作付誘導策を伺う。
3	2 番 澤 邊 幸 浩	1 運転免許証の自主返納について	1 今後、高齢化社会における市内の高齢ドライバーが増大する中で、運転者の生活と安全を守るために、以下の点を問う。 (1) 現在、市内において、特に高齢ドライバーに対して、安全運転の啓蒙活動等は、どのようになされているのか。 (2) 高齢者の運転免許証の自主返納において、栗原市の現状について、市はどのように把握されているのか。 (3) 栗原市における運転免許自主返納者に対する支援施策について、現在の支援内容を伺う。

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
			(4) 今後、運転免許証の自主返納を推進するにあたり、新たな支援についての考えはあるのか。
		2 市内における空き家対策について	1 現在、空き家等対策を推進するにあたり、栗原市においても、栗原市空き家等対策計画がなされている。空き家等の現状については、統計調査から、住宅総数、空き家総数ともに減少しているとはいえ、今後の人口減少に伴い、空き家の増加が想定される。今後の空き家等の適正管理と問題解決に向けた取り組みについて、以下の点を問う。 (1) 空き家等の現状について、栗原市の住宅総数、空き家総数、空き率の状況を伺う。 (2) 市においては、現在、さまざまな関係機関と協力して、空き家等対策を推進するための施策が取り組まれているが、具体的にどのようなものか。 (3) 今後、空き家等対策の一端として、空き家等を利活用した農泊事業や滞在型市民農園といった、グリーン・ツーリズムを展開できないものか伺う。
		3 栗駒山麓ジオパークにおける地域振興について	1 栗原市においては、栗駒山麓ジオパーク活動を通じて、地学的自然遺産の保全に取り組んでいる。その活動の一端として、巨大な地すべり地を保存することも含まれているが、一方、現地においては、地すべり地を見学できる環境を整備し、この地域資源を活用した、地域活性化、地域経済振興へと取り組むことも、保全と同様必要と思われる。以下の点について問う。 (1) 現在、岩手・宮城内陸地震の記憶を伝える地すべり地については、ガイドツアーや教育活動において、どのような活動が行われているのか伺う。 (2) 荒砥沢地すべり崩落崖については、どの程度見学できる環境にあるのか伺う。
4	11 番 相 馬 勝 義	1 くりこま高原駅周辺開発について	1 栗原市の表玄関である「くりこま高原駅」周辺の開発を、少子高齢化が進む中、「移住・交流拠点」として早急に開発することが、人口減少等の歯止めの対策に繋がると考えるが、整備計画について伺う。
		2 くりはら交流プラザ（エポカ 21）支援について	1 くりはら交流プラザ（エポカ 21）は、現在、土地・建物は栗原市に譲渡されており、第三セクターとしてくりはら振興株が管理・運営を行っている。運営はコロナ禍の中、一部休業や人員の削減など経費削減に努め営業を行っているが、なかなか厳しい経営状況と聞いている。栗原市は、くりはら振興株の 7 割以上の株を保有しており、この厳しい状況に当たり、どう支援していくのか伺う。また、駅前でもあり、この施設を今後どのように活用していくのが望ましいか伺う。

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
		3 二迫川の鶯沢支障木土砂撤去の早期実現について	1 鶯沢地区二迫川の辻前地区は今年 5 月（工期は令和 3 年 2 月 16 日から 8 月末日）に支障木土砂撤去が実施され水の流れがよくなっているが、ほんの一部の区間だけの施工で、上流の中館前地区は無堤防であり、下流には住宅地・大型福祉ゾーン・小学校・鶯沢総合支所等が密集しており危険な場所である。現在の自然災害を考えた場合、上流中館前地区は、早期に支障木・土砂撤去を県に強く働きかける必要があると思う次第である。 また、下流の袋地区鉛川と二迫川の合流地点まで実施する必要があるのではないかと考える。なお、この場所は、平成 27 年 9 月の関東・東北豪雨で堤防が決壊した場所の上流であり、早期に実施されるよう宮城県に強く働きかける必要があると考えるが、市の見解を伺う。
		4 抗体カクテル療法について	1 栗原市においても毎日のように感染者の報告があるが、感染患者の中で、病院に入ることが出来ず自宅療養者がいるのか伺う。 また、若い人達へのワクチン接種が待たれる中、市の接種実施計画では 2 月末の接種完了とのことだが、遅くとも年内中か 1 月ごろまでには接種が完了できるよう国や県に働き掛けができないかを伺う。 抗体カクテル療法は大学病院等、国立病院などで実施する考えだが、ホテル療養者にも治療可能なのか伺う。
5	10 番 濁 沼 一 孝	1 市長の公約について	1 笑顔が生まれるまち、くりはらを引き継ぐために、「ゆたかに」「いきいきと」「すこやかに」「ともに」「やすらかに」を公約として、新市長が誕生し、市政発展に邁進していると思う。次の点について伺う。 (1) 次世代スマート農業や家族農業など多様な農業経営への支援をするとあるが、具体的に支援を考えているのか伺う。 (2) 企業誘致や新たな産業起こしでは、土地利用構想の施策を見ると、市内の 2 つの工業団地を最大限に活用した産業集積拠点の形成を目指し、新しい産業の立地、育成のために必要な措置を講ずるとあるが、具体的な施策を伺う。 (3) 美しい自然と豊かな観光資源の活用とあるが、第 2 次総合計画後期基本計画（案）の土地利用構想の中の「田園都市としての質的向上に向けた新たな中核機能地域の形成」には、築館宮野地区の計画が含まれているものと理解してよいか。
		2 農作物有害獣被害防護設置事業について	1 令和 3 年 8 月 11 日、産業建設常任委員会で鳥獣被害対策に関する調査を実施した。その中で花山地区、一迫地区の 2 ヶ所で当事業を実施することである。他にも多くの農家から防護施設の設置の要望があるが、次年度は何 km 位の実施計画か伺う。

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
			<p>2 当事業の他に、中山間地域所得向上支援事業でも防護柵設置ができるようである。この事業は農地と山林、農地と河川を隔離する事業と聞いているが、それが出来れば検討してほしいが見解を伺う。</p> <p>3 現在、栗原市では電柵も補助金で設置できるが、今年度の申請受理は何件で事業費はいくらか。申請しても受理されないと聞かすが、9月補正で計上されるのか伺う。</p>
		3 市道の整備について	<p>1 市道宗七坂線は、令和2年7月、雨で道路の路肩が崩落した。現在も整備されていないが理由を伺う。通行止めになれば、いつまでもこのままで良いということにならないと思う。過日ゲートから現地に行ってみるが、全く整備されていない。道路脇の草も刈取っていないし、側溝も土砂が堆積している。このままでは崩落箇所が増々広がるのではないかとと思うが、見解を伺う。</p> <p>2 市道上田線、この路線は請願し、議会でも可決された路線である。現在の路線は、内陸地震の際は土砂が崩落した。過日も重機で移動するほどの落石があった。このままではいつ事故が起きるかわからない。早急に請願路線の整備をお願いするが、見解を伺う。</p> <p>3 市道都田線の路盤整備をし、9月に舗装事業を完了した。受益者からは余りにも施工延長が短いのではないかという声がある。今後継続して事業を完了してほしいが、見解を伺う。</p> <p>4 市道有賀沢線の排水路は3年計画で始まった事業と思うが、まだ完了していない。早速事業を実施し、事業を完了してほしいが、見解を伺う。</p>
6	9番 菊地 広志	1 新型コロナ感染症ワクチン接種対応について	<p>1 市内でのワクチン接種もだいぶ進んでいるとは思いますが、まだまだ若年層への接種は進んでいない状況とを感じる。栗原市は個別接種対応とのことで、中々思うように接種が進んでいないのではないかと感じる。</p> <p>(1) この先ブレークスルー感染が広まり3回目、4回目と接種しなければいけない事態になった場合は、接種の年代別の順番を変更するのも一つの方法では無いかと思うが如何か。</p> <p>(2) ワクチンの接種優先順位で、今回は、介護施設やデイサービスの職員、障害者施設の職員などには優先的な接種が出来ず、また、妊娠されている方やシングルマザーやシングルファザーで小さな子供が居る家庭では、感染したら残された子供達はどうなるか心配で、日々頭を悩ませて生活していたとの話を耳にする。この先またワクチンの接種が有る場合は、このような職種や世帯に対しても優先接種の方向でお願いしたいと思うが如何か。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
		2 商工業者への今後のコロナ支援策について	<p>1 市内の中小企業者等に対しての新たなコロナ支援策について伺う。</p> <p>(1) 8月、9月のまん延防止等重点措置、緊急事態宣言を経験し、更に、これから窓を閉め暖房を使用する寒い時期を迎える中で、感染予防対策に取り組む支援事業の必要性(重要性)を感じている。長い期間で申請できるよう申請期間の見直しを図りながら、市内の中小企業が1社でも多くの感染予防対策に取り組んでいただければ、継続した支援事業の実施をしていただきたいと思います。どうか。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中小企業事業者に対して商品券を活用しての支援策ではなく、予算や財政の縛りは有ると思うが、影響を受けている事業者へ直接支援した方が満遍なく支援が出来ると思うがどうか。特に、協力金の対象となっている飲食店以外の事業者を対象とした直接的な支援策などは考えていないのか。</p> <p>(3) 今現在、宮城県では、飲食店の事業継続を支援するための「みやぎ飲食店コロナ対策認証制度」に力を入れているようである。これまでのように、要請により時短営業や酒類提供の制限に協力している飲食店を一律に支援するだけでなく、今後は認証を受けた事業者を優先対象とした支援をするべきと考えるがどうか。</p>
		3 第2期栗原市スポーツ推進計画について	<p>1 栗原市のスポーツ推進事業は、平成20年3月策定、平成25年3月改訂の「栗原市スポーツ推進計画」を基本に展開されているが、国の基本計画を参酌して策定するものとされていることから、目標年度を2022年までの5年間として、新たに「第2期栗原市スポーツ推進計画」が策定されている。</p> <p>(1) 来年度で5年間の推進計画年は終わるが、この5年間でどのような事業を立ち上げて、どのような施設を設けたのかをお聞きする。</p> <p>(2) 「楽・楽・楽(ら・ら・ら)スポーツ」は、市民一人ひとりがスポーツを「する」楽しみ、「みる」楽しさ、「ささえる」楽しさの3つの意味を含めたスローガンだとのことだが、健康の増進と体力の向上が図られ、スポーツの意義を最大限に享受出来るよう取り組むとあるが、具体的にはどのような取り組みを行ったのか。</p> <p>(3) 市内の体育施設を見て回ったが、とても危なくて使えそうにない施設や、傷んだまま補修も改修もされていない施設が目立った。施設の補修や改修は推進計画には入っていなかったのか。入ってはいるが放置していたのか。これから多大な予算を掛けて新設せずとも、今ある施設を有効に活用すれば、もっともっと楽しくスポーツを推進できる環境になると思うがどうか。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
		4 若柳中学校の武道館の修繕について	<p>1 若柳中学校武道館の雨漏りはブルーシートで覆い応急的に処置をして頂いたので、現在はおさまっているようだが、床の破損やトイレの不具合、武道館への入り口の階段部分はまだそのままの状態のようである。</p> <p>(1) 中々修繕が進まないのはどのような為か。修繕に向けて動きはあるのか。</p> <p>(2) 修繕できるとして、いつぐらいに出来るのか。</p> <p>(3) このような状況は他の学校や施設でもあると思うが、各学校や施設に、状況調査や聞き取りなどは行ってはいないのか。</p>
7	22 番 菅 原 勇 喜	1 公約実現と財政運営について	<p>1 市長は、6月定例会において、中学校3年生までの25人学級や学校給食無償化について、「令和4年度から始まる第2次栗原市総合計画後期基本計画の中で具体化したい」とのことであった。現時点で市長が考えている年次計画等、具体策を明らかにされたい。</p> <p>2 「生活創造拠点」における公園整備は基本計画を基に実施の可否を判断したいとのことだったが、基本計画(案)が作成された現在、いかがな考えをお持ちか。</p> <p>3 「誰もが健康で生きがいと楽しみをもって過ごせるまちを創ります」では「在宅介護への支援」をうたっているが、「寝具洗濯サービス」については、昨年度まで65歳以上だった対象者が、今年度から、75歳以上に繰り延べされ、今年からサービスを受けられると期待していた障がい者の方が大変がっかりしている。公約に反するのではないか。いかがか。これまでサービスを受けていた方で対象外となった方は何人いるのか明らかにされたい。</p> <p>4 財政調整基金について、かつて栗原市は「標準財政規模の5～10%」と言っていたが、6月議会では「10～20%」と引き上げる考えを明らかにした。財政調整基金をはじめとした一般会計基金、地方債の向こう5年間の見込み額が議会に示されているが、後期基本計画でもこの通り推移すると認識してよいか。</p> <p>5 合併特例債をかつてスポーツパーク構想に50億円つぎ込む予定だった。これを取りやめ今日に至っているが、市長はこれをどのように評価しているか。合併特例債、残りの発行予定額を今後、後期基本計画、過疎計画の中で、どの事業に充当していく考えか。</p> <p>6 ウッド・ショックが取りざたされ、来年度の予算編成にも大きな影響があるものと考えているが、栗原市はいかが対応しようとしているか。集会所改築を予定している行政区・自治会からは今の補助基準では取り組めなくなるとの声が寄せられているが、対応策は検討されているか。</p>



発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
		2 乗合デマンド交通の見直しについて	<p>1 総務常任委員会所管事務調査への提出資料によれば、「利用者、運行事業者等からの要望」では、利用者、区長からは、①拠点施設の追加、②運行時間の変更、便数の増、土曜日も運行、③他地区への運行、一方、運行事業者からは「現行のデマンドは旧町村ごとにエリア分けしている前提で成り立っている。この形が、運行业者が協力できる最大限の条件である。地区外運行は認められない。」との要望があると報告された。これでは、市民要望に応える見直しはできないことになるが、当局はどのような対応策を考えているか。</p> <p>2 令和3年度は、8 タクシー業者、1 地区と随意契約による業務委託を行い、契約額 126,188,698 円である。令和2年度末の登録者 1,158 人で試算すると、登録者一人当たり 108,971 円の市負担額となる。契約額は「運行経費の合計額」となっているが、算定はどのような基準で行われているか明らかにされたい。利用者登録は、障がい者手帳の有無以外何の条件も無く、誰でも登録できることになっている。令和2年度登録者 1,158 人中、障がい者手帳所有者は何人か。また、高齢者、要介護・要支援認定者や免許返納者の人数は把握されているか。</p> <p>3 「政策フォーラム」の会派視察研修報告によれば、岡山県美咲町では、試行錯誤の末、介護タクシーを含むタクシー活用の「美咲町黄福タクシー」として運行されているとのことである。栗原市は利用者一人当たり令和元年度 4,425 円、2 年度 4,783 円の市負担額となっているが、この負担額を考えると、美咲町のような対応はできると考える。美咲町の利用規則に倣い、試算してみたいか。</p>
		3 栗原市水利に関する分担金徴収条例について	<p>1 第4条に定めている各地域受益面積と地域ごと徴収総額はいくらか。</p> <p>2 志波姫地区新戸崎機場、新間海機場、稗田機場それぞれの受益面積と受益農家の分担金はいかほどか。3 機場の年間維持経費は、それぞれいくらか。</p>
		4 水害対策について	<p>1 令和元年10月の台風19号では、ハザードマップで想定している、2日間雨量462mmの半分の雨量でも甚大な災害を引き起こしたところである。この経験に学んでどのような対策を考えているか。</p> <p>2 堤防決壊箇所については改修が行われているが、各河川の川幅、堤高が基本的に変わっていない状況下であれば、決壊、破堤しなくても、台風19号程度の降雨量で田んぼが冠水するのは容易に想定できる。どのような対応策を考えているか。</p> <p>3 若柳地区の南谷地、伊豆沼2工区は遊水地指定がされているが、これまで冠水した際どのような補償が行われたか。具体的に明らかにされたい。また、他に、遊水地指定が適当と想定される地域は考えているか。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
		5 くりこま高原駅 駅前広場駐車場の 使用料引き上げ、有 料化スペース増の理 由は	<p>1 現状の時間貸、月極、無料等の利用状況とそれぞれの使用料はいくらか。</p> <p>2 現状のままでの使用料引き上げを行った場合の収入見込みはいくらか。</p> <p>3 議員全員協議会では「課題・問題点」を4点指摘しているが、使用料引き上げ、有料化スペース増は必ずしもその課題解決には直結しないものと考えているかがか。</p> <p>4 月極駐車場 121 台の増だが、利用者の希望はどの程度あるのか。</p> <p>5 無料駐車場を減らすことは、駅に隣接する大型店の駐車場への無断駐車が行われるのではないかと危惧するものだが、その検討は為されたか。また、現状において無断駐車の有無は確認されているか。</p> <p>6 使用料引き上げ、無料駐車場を減らしての有料化スペース増は行わないように求めるのがいかかか。</p>
		6 市道等、修繕要 望対応について	<p>1 市道四ツ壇原 2~4 号線拡幅整備の進捗状況はいかがかか。</p> <p>2 国道 398 号線若柳川原交差点周辺が降雨時、滞水している状況があるがどのような対応をなされているか。</p> <p>3 降雨時、生活道路から雨水が民家住宅床下に浸水して困っている、との訴えがあったがいかがな対応策を考えているか。また、市内において生活道路の舗装などの改良要望箇所はどれほどあるのか。</p>
8	20 番 三 浦 善 浩	1 高齢化する農業 従事者に寄り添え	<p>1 少子高齢化や後継者不足は、市においても各方面でたいへんな問題となっている。市の基幹産業である農業でも、例外ではない。そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 市の農業従事者の平均年齢は何歳か。</p> <p>(2) 「ため池の堤体の勾配がきつくて上り下りが大変だ。」という声に應えるとともに、安全対策や事故防止などの観点から、必要に応じて階段、手摺り、ロープなどの設置を検討すべきと考えるがどうか。</p>
		2 田んぼダムのモ デル事業化を進 めよ	<p>1 いつまた起こるかわからない台風や大雨、それらによる水害の被害を最小限に抑えるためにも、雨を一時的に水田にためる「田んぼダム」による洪水対策が有効ではないかと考える。そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 水の管理には、各農家の協力が欠かせないことから、補助する仕組みを検討してはどうか。</p> <p>(2) 部局横断的に検討をして、例えば、栗原市中核機能地域の上流地域をモデル地区とした事業化などをしてはどうか。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
		3 PTA活動を地域で応援	<p>1 児童・生徒の数が年々減少している。学校の数も減って地域との関わりも以前ほどではないような気がする。PTAの会員数も減少していると思われる。そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) PTA会員数の減少がPTA活動や事業にどう影響しているか。また、課題をどう捉えているのか。</p> <p>(2) これまでも地域とPTAは、関わりをもってきたが、自治会や行政区と連携しながら、PTA活動を地域で応援・協力する体制づくりをしていくべきではないか。(特に、人手を必要とする活動の場合など。)</p>
		4 ヤングケアラーの実態は	<p>1 家族の介護や世話をする18歳未満の「ヤングケアラー」と言われる子どもたちが、勉強や睡眠の不足で学校生活に支障が出たり、状況を周囲に話せず孤立するなどして、全国的にも問題化している。そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 市では、現状を把握するための調査を行っているのか。</p> <p>(2) 市内の実態は、どうなっているのか。</p> <p>(3) 今後は必要に応じて、助言や見守りなどの支援体制を整えていくべきと思うがどうか。</p>
		5 おくやみガイドブックの作成を	<p>1 大切なご親族を亡くされ、深い悲しみの中でもご遺族の方は、各種の手続きをしなければならない。現在は、死亡届を出された方へ各種手続き一覧(A4サイズのワンペーパー)を渡しているようだ。そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 手続きの内容(窓口、持ち物、期限、問い合わせの電話番号など)を詳しく案内するガイドブックを作成して、ご遺族の負担が少なくなるようにしてはどうか。</p>
9	23番 高橋勝男	1 栗原市民のコロナ感染者への対応は大丈夫か	<p>1 入院ができなく、自宅療養者が多くなる中、自宅で亡くなるケースも発生している。自宅療養者への対応と感染が急拡大している生徒児童が通う幼稚園・保育所、小・中学校でのコロナ感染対策について伺う。</p> <p>(1) 自宅療養者への経過観察は、どのような体制で、どこが担当して行われているのか。</p> <p>(2) 日中又は夜間、体調が悪化した場合の連絡先は、24時間体制で対応されているのか。また、受け入れ病院への連絡対応は何処が行うのか。</p> <p>(3) コロナ感染患者への対応は、県の保健所が対応するシステムにはなっているが、患者の急拡大によって手が回らない状況にある。県と市町村との連携が急務になっているが、栗原市としてできる応援体制について伺う。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
			<p>(4) 小・中学校には、コロナ感染防止対応として、スクールサポートスタッフの配置が計画されているが予定通り配置されているのか。また、清掃用の手袋や洗剤等の備品などは十分配置されているのか。幼稚園や保育所にも、人的配置が必要ではないのか伺う。</p> <p>(5) 栗原市の独自優先接種者は、どうなっているのか。大学受験や就職試験を控える高校 3 年生、高校受験を控える中学 3 年生、妊婦等の優先接種はどうなっているのか。</p> <p>(6) 今年のインフルエンザの予防接種はどうなるのか。</p>
		2 通学路の安全確保に向けて	<p>1 今年の 6 月 28 日、千葉県八街市で、小学生の列にトラックが突っ込み、児童 5 人が死傷した事故を受け、国は全国の公立小学校の通学路を対象にした点検を行うことを決め、9 月中をめどに、点検実施と危険個所の把握を進め、10 月中をめどに対策案を作成するよう求めているが、市の対応状況について伺う。また、この調査とは別に、教育委員会として、現在、通学路の危険個所として指摘又は把握している箇所はあるのか伺う。</p> <p>2 栗駒南小学校前の通学路の安全対策、「ゾーン 30」に向けた若柳警察署や地域住民の方々など関係者との協議状況と実施時期の見通しについて伺う。</p>
		3 一の堰用水路の番水緩和・解消に向けて行動を	<p>1 一の堰用水路は、高松・清水田・宝領・大鳥・八幡地区の水田の水源になっている。水量が少ないことから、一週間に一回の番水になっているが、市内にはこのような状況の所はあるのか伺う。また、この現状について市長の見解は。</p> <p>2 一の堰頭首工からの取水量について、平成 30 年 6 月議会答弁の数量と一の堰頭首工に表示されている数量には差異が発生しているが、国土交通省と農林水産省との協議決定数量まで取水しているのかどうか伺う。</p> <p>3 鶯沢北郷高玉地区にある調整池で、パイプラインと一の堰用水路側（高松分水口）に分かれるが、一の堰用水路側の水量はどのように設定されているのか伺う。</p> <p>4 一の堰用水路の番水開始が、毎年 4 月 20 日であったものが、27 日と一週間遅れている。5 月の連休に植える方もおり、番水開始を早めるよう求める声があるが、どのような対応をすればよいのか伺う。</p> <p>5 番水の緩和・解消は、一の堰水利組合の長年の悲願である。番水の緩和・解消に向けた方策について伺う。また、用水効率を上げる対策として自然流下方式によるパイプラインの設置などはどうか。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
10	8番 小野久一	1 新型コロナウイルス感染症対策について	<p>1 直近の新型コロナワクチン接種の進捗状況を伺う。8月26日の議員全員協議会での当局の説明では、宮城県発表以上のことは分からないとのことだが、それでは市民の命と安全は守れないし、市としての適切な対応も取れないと危惧せざるを得ない。感染者の直近の状況について明らかにすべきではないか。</p> <p>2 市の安全安心メールでは家庭内感染が増えており、注意するようにとのメッセージが寄せられたが、感染者は、即時家族から隔離され病院で受診できているか。</p> <p>3 市民のPCR検査はどのように行なわれているか。また、介護・高齢者施設などでの抗原検査は実施されているか。</p> <p>4 市長は6月議会で「個別接種医療機関への接種機会拡大の依頼や、休日における集団接種の体制を整えるべく、現在栗原市医師会と協議を進めている。」と答弁しているが、実施されていない。今後の具体的な計画を伺う。</p> <p>5 優先接種が必要と思われる妊婦やひとり親家庭、保育所・幼稚園・小・中学校教職員への接種はどう行なわれているか。</p> <p>6 感染者の2日前までの行動履歴は保健所があたると理解しているが、感染者の接触者は把握されているか。また、これまでに市職員が協力した人数は何人か。</p> <p>7 このような状況でも宮城県は来年の4月に保健所を統合し、栗原保健所を支所にする方針を変えていない。感染症対策や精神保健対策、公衆衛生対策等、多岐にわたるサービスを展開している保健所の重要な役割を考えれば支所化は受け入れられないと考えるが、市長の見解を伺う。</p>
		2 文字地区「2連水車」は市で維持管理すべき	<p>1 文字地区に設置されている「2連水車」の1つが回転していないが、原因は何か。</p> <p>2 維持管理はどこでされるか明確になっていたか。</p> <p>3 現在この水車は、栗原市観光の要所になっており、2連水車・藍染の里～荒砥沢ダム～栗駒山へと続き、新緑・紅葉時には絶景の観光ルートとなっている。このことからしても市で管理し維持していくべきでないか。</p>
		3 通学路の安全点検とスクールバスの活用を	<p>1 今年6月28日、千葉県八街市で下校途中の小学生の列にトラックが突っ込み、5人が死傷した事故を受け、国は危険な箇所を抽出し安全対策を講じるとする通知を出したが、栗原市教育委員会はどう対応されているか。</p> <p>2 市内で歩道の整備がされていない通学路距離はいくらか。そこではどのような安全対策を取られているか。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
			<p>3 八街市長は首相と面会し、スクールバスの先行導入を訴えたと聞いた。栗原市では4キロメートル、6キロメートルの基準に満たない児童・生徒は利用できないが、安全通学上からも基準をなくすべきでないか。</p> <p>4 スクールバスを利用できない児童・生徒で徒歩や自転車通学をしている子どもと、家族などの車で送迎をされている子どもの割合はいかほどか。</p> <p>5 6月議会では、キロ数基準をなくすとバスの台数やコースを増やさなければならず、経費の増大につながるのと答弁だったが、コースは学校から放射線状につくられているはずで、バスを増やすことなく往復する過程の中で子どもを乗せることは可能でないか。</p> <p>6 スクールバスの利用は、安全な通学のあり方や家庭の負担を考えたとき、保護者の切実な願いである。教育委員会では財政支出を伴うことになれば決断を躊躇せざるを得ないのだろうと推測しているが、バスのコース変更や距離基準をなくすことにより、交付税や市の財政負担はどうなるか等、調査する必要があると考える。事故等が起きてから対応することのないように市長の見解を伺う。</p>
	4 生産者米価の大幅下落対策と栗原市農政を質す		<p>1 全農宮城県本部は県内各農協に支払う2021年産米の概算金をひとめぼれで1俵9,500円、つや姫・ササニシキで9,600円と決めた。大幅な下落である。農家のくらしに大きな影響を及ぼすことは確実である。政府は、コロナ禍で生まれた「過剰在庫」を買い取り市場から隔離することもなく、消費量の1割以上にもなるミニマムアクセス米の輸入を減らすでもない、まるっきり市場任せの無策農政である。このことに対する市長の見解を求める。</p> <p>2 栗原市の農家の減収額ほどの程度になるか。市としてどのような対策を考えているか。</p> <p>3 農水省は8月25日、2020年の食料自給率(カロリーベース)が37.17%と過去最低になったと発表した。まさに非常事態でないか。市長会(県・東北・全国)や市長独自にも食料・農業・農村政策に本気で取り組むよう政府に要請すべきでないか。</p> <p>4 栗原市土地改良事業補助金は補助金限度額が450,000円で農家から喜ばれている制度である。市では当初8件の申請を見込み3,600,000円の子算とのことだったが、これまでに15件の申請があり、全ての申請者に交付するため補助金は半額にすることだがそれでよいのだろうか。各団体は補助金450,000円で予算を組み、計画を作り個人に賦課しようとしていたので大変困惑して、市の対応への批判が出ている。補正予算で対応すべきでないか。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
			5 農業用揚水機場維持管理補助金は中山間地の農業・農家・農地を守っていくためにはなくてはならない制度である。市長は「当初から3年間の期限付き要綱である」というが、良いものであれば期限を外したらいいのでないか。「申請団体の運営状況が安定しているから令和2年度は引き下げた」というが、今年のように米価が3,000円以上下がって暮らしが大変であっても、団体に迷惑をかけられないから賦課金は支払うのであり、結果、団体の運営は安定しているように見えるのである。個々の農家の実情をしっかりと把握し、この制度を維持し予算を増額・充実させるべきでないか。見解を求める。
1 1	19番 菅原麻紀	1 納税貯蓄組合のあり方を問う	1 各地区に納税貯蓄組合があり、組合長には各戸への配布などして頂いているが、現在市や納税貯蓄組合では口座振替を推進している。市になってから15年がたち、口座振替の推進もあり、以前より現金納入の割合は減ってきているかと思う。 (1) 15年前と現在では、口座振替の割合はどの位変化があったか。また、コンビニ払いもできるようになり、件数は何件か。 (2) 納税貯蓄組合では、100%完納を目指すために貯蓄も含め各組合員より徴収して、組合が金融機関に納めていたと思う。今現在もそのように運営している組合もあるが、口座振替が多くなっている今、組合長に個人の税金の明細がいくのはいかなものかと感じる。どのようにお考えか伺う。 (3) 納税貯蓄組合で明細がいない場合は、組合で話し合いをした上でそういった書類の提出が必要とのことであったが、各組合に任せているということであるので、統一を図ってはどうか。 (4) 組合に加入していると補助金が交付されるが、組合加入の方が口座振替で引き落としがなくなっても補助金交付になるのは、組合の「100%完納」という目的からはズレているように感じる。納税貯蓄組合の規則が平成21年から変更がない。時代とともに納入の仕方も変わってきているので、補助金についてもう一度検討してみたいかかなものか、市長はどのようにお考えか伺う。
1 2	4番 佐々木嘉郎	1 栗原市の未来づくりについて	1 栗原中核機能地域（築館宮野地区）基本計画について。 (1) 少子高齢化、人口大減少時代に、中核機能地域をつくることで、どのような活性化が考えられるか。 (2) 宮野地区の人口はどれほどか。 (3) 計画の総面積はいくらか。 (4) 概算事業費、設計費、土地の単価、維持費はいくらと見込まれるか。

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
			<p>(5) 広大な面積の栗原市だが、周辺地域からの移住を進める考えはどうか。</p> <p>(6) 計画地は低地にあり、降雨時の水害が心配されるが大丈夫か。</p> <p>2 栗原市医学生修学一時金について。</p> <p>(1) 修学一時金の貸付金額は、現在規則で規定されているが、条例に規定すべきではないか。</p> <p>(2) 医師の確保のために、貸付金額の見直しを図る考えはないか。</p> <p>3 栗原市奨学資金について。</p> <p>(1) 奨学金を利用している方が全学生の約 6 割程度いると言われている。他の自治体では奨学金返還にあたり、条件はそれぞれあるが、助成や補助、一部免除を行っているところがある。市内在住を条件に、返還を一部免除することで、働き手の確保が期待される。将来への投資として考えてみてはどうか。</p>
1 3	15 番 佐 藤 文 男	1 「ナラ枯れ」被害の実態は	<p>1 昨年、栗原市内各地の里山において「ナラ枯れ」現象が多く見受けられた。このまま「ナラ枯れ」が蔓延すれば里山はもちろん、広葉樹林の栗駒山の紅葉の景色も一変してしまう。また、シイタケの原木の確保が困難になり、ドングリの減少によりクマがさらに里に出没するのではと危惧されるなどの理由から、昨年 9 月の定例議会で一般質問をしたが、その後の対策や被害状況はどうか。</p> <p>(1) 地区ごとに、被害木の分布状況はどうか。</p> <p>(2) 被害面積、被害額はどの程度とみているか。</p> <p>(3) 「ナラ枯れ」駆除対策として、昨年は「伐倒駆除している」との答弁があったが、何本ほどの伐倒駆除がされたか。</p> <p>(4) 「ナラ枯れ」が発生した被害木を次の年に伐倒駆除しても効果があるのかどうか。</p> <p>(5) 道路や遊歩道際に枯れたままの被害木が見受けられるが、倒れたり、枯れた枝が落ちたりする危険がある。こうした場所の被害木は早急に伐倒すべきと思うがどうか。</p>
		2 公園遊具の管理は適正か	<p>1 新型コロナウイルス緊急事態宣言中は、市内公共施設の利用は制限された。市管理の公園遊具も、立ち入り禁止のテープや使用停止の張り紙がなされたようだ。一方、地区行政区管理になるのか不明だが、使用停止の張り紙がない所も見受けられた。利用するのはどちらも市民であり、同様の扱いにすべきという思いから、以下の点はどうか伺う。</p> <p>(1) 市管理以外の公園遊具は他にあるか。(どこの管理で箇所数も)</p>



発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
			<p>(2) 木製遊具は引き続き使用禁止になっている遊具もある。修理や更新をされるのか。</p> <p>(3) 遊具使用停止中に、メンテナンス作業をやるべきだったと思うがどうか。</p> <p>(4) 公園に設置されているのは、子ども対象の遊具がほとんどだが、大人などを対象にした健康遊具も設置すべきと思うがどうか。</p>
		3 高齢者補聴器購入に助成を	1 聴力低下は認知症発症の大きな要因になるとも言われている。しかし、個々に合った補聴器購入となると高額のため購入を躊躇する方が多い。こうした聴力機能が低下した高齢者に対し、日常生活でのよりよいコミュニケーションの確保と、積極的な社会参加を促すことを目的として、補聴器購入の一部を助成する自治体も増えている。栗原市においても、高齢者補聴器購入に対し、助成制度を創設すべきと思うがどうか。
1 4	6 番 三 塚 東	1 SDG sで栗原の未来を描け	<p>1 市がSDG sに取り組むことにより、住民の生活の質を向上させるとともに、栗原固有の背景を踏まえた独自性のあるまちづくりを推進し、経済、社会、環境政策の統合による相乗効果を創出することが可能となる。そこで以下を聞く。</p> <p>(1) SDG sは、市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進が期待され、SDG sの視点を活かせば、政策・施策・事業をさらによくことができ、SDG sを活用すれば課題の発生に先回りして打ち手を実行できるなどの効果がある。よって、市長をトップとするSDG sの取り組みをマネジメントする組織が必要と考えるがどうか。</p> <p>(2) 職員はそれぞれの業務の中でどのようにSDG sを活用できるのか、計画的な職員研修が必要と考えるがどうか。</p> <p>(3) 第2次総合計画の後期基本計画(案)には、取り組みと連動するSDG s17の目標のうち、アイコン14「海の豊かさを守ろう」が表示されていない。国内でも高まる海洋プラスチックごみへの注目は、内陸部の栗原も他人事ではない。後期基本計画(案)に具体的な取り組みを追加するなど、アイコン14「海の豊かさを守ろう」を追加し、市としての責任を果たす施策が必要と考えるがどうか。</p>
		2 大学発のベンチャー企業を誘致せよ	1 東北6県での大学発ベンチャーは29社増え、244社となったが、東北を本拠地に株式上場などに至ったベンチャー企業は長年出ていない。国頼みの支援には限界があり、起業家の努力が一層求められるが、産・学・官の連携で栗原での成功事例を育てたいと思う。そこで、以下を聞く。

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
			<p>(1) 市は、大学発のベンチャー企業の誘致を積極的に取り組み、瀬峰場外離着陸場やくりこま高原駅、さらに2つのインターチェンジなど、栗原の特色を活かした持続可能なまちづくりを積極的に取り組むべきと思うが、どう考えているのか。</p> <p>(2) これまで東北大学農学部や立正大学との連携してきた事業の効果をどう総括しているのか。また、今後の取り組みをどう考えているのか。</p>
		3 デマンド交通のタクシー利用助成について	<p>1 今定例会において、鶯沢地区の乗合デマンド交通の登録者を対象に、栗駒地区へのタクシー利用を助成するとしている。そこで、以下を聞く。</p> <p>(1) 栗駒までのタクシー利用の助成額1人あたり2,720円、初乗り680円、4回相当の実施期間はいつまで考えているのか。</p> <p>(2) 地区を限定した事業になるが、住民から聞き取り調査の場はあったのか。また、タクシー事業者との協議はどのような内容か。</p> <p>(3) 乗合デマンド交通の登録者は40人(令和3年3月31日)となっているが、補助額133万9千円の算出根拠は。また、登録者への周知方法はどうか考えているのか。</p>
		4 鳥獣対策専門の職員を募集すべき	<p>1 市は、県や若柳・築館両警察署、市教育委員会、市鳥獣被害対策実施隊などの関係機関と連携をとりながら、巡回パトロールや防災行政無線、安全・安心メールなどを活用して、迅速に市民への注意喚起を行うとともに、必要に応じて罠設置などの捕獲対応を実施していくとしている。そこで提案に対する考えを聞く。</p> <p>(1) 鳥獣害対策に関する専門的知識や経験のある専門職を一般職員として任期を定めて採用し、①鳥獣被害に応じた被害防止対策の立案・実施、②鳥獣被害対策の技術的な支援、③地域への指導・現場コーディネート、④生息数の調査・捕獲対策効果の検証と支援・被害対策の状況の整理などを担当する、鳥獣被害対策専門の正規職員を募集する考えはないか。</p>
15	17番 石川正運	1 支援すべき米づくり農家へ	<p>1 水田耕作面積1ヘクタール当たり30万円の減収が想定されていると思うが、米づくり農家への支援が急務と思う視点から市の考えを問う。米の消費量が年々減少している中で本年は新型コロナウイルスの影響で需要が落ち込み、2021年産米の概算金が、主力品種のひとつめぼれで60kg、1等米は前年対比3,100円、24.6%減の9,500円。ササニシキ、つや姫は共に9,600円でそれぞれの下げ幅は3,100円、3,000円の減と報じられているが、市の独自支援策を伺う。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
			<p>(1) 新米 1 俵 60kg 一万円を割るようだが、市長はどう思われ、何を思い浮かべたか。</p> <p>(2) 2021 年産の米価下落により、市内の米作農家の収入減はどれ程と試算されているのか。</p> <p>(3) 市長の公約の中で、農業部門では、スマート農業や家族農業への支援を充実し、農業振興の充実を推進していくとしている。米価の下落で苦しんでいる今だからこそ市独自支援は急務であり、市の基幹産業である農業、とりわけ米が農業収入の源になっていることからすれば、大胆な支援を講ずるべきではないか。</p> <p>(4) 今回の米価下落の要因はコロナ発生に伴うことが最大の要因と思われることから、災害時のような対応が必要と認識している。市内米作農家への支援として、10 a 当り 15,000 円程度の助成を提案するがどうか。</p>
		2 伊豆沼、内沼のハスの生育状況とハス祭りについて	<p>1 今年のハスの生育をみると、内沼は全体の面積の 7 割位はハスが生えていない現状にある。伊豆沼も、ハスの生えていない面積が増えてきている。ハスが増えるように改善策を講ずるべきと思うが、どうか。</p> <p>2 沼の水質の現状について、どのように認識しているか。</p> <p>3 今年のハス祭りの乗船者数は伊豆沼、内沼、各々いくらか。</p> <p>4 過日の行政報告の中の「イベント状況について」では、伊豆沼、内沼でハスマつり遊覧船が運航され、今年は近年になく花の数が多く美しい眺め、とあるが、ハスの生育状況を見て、本当にそのように思われているのか。</p>

※ この要旨は、各議員から提出された通告書の要点をまとめたものです。